

# 榎垣外遺跡発掘調査報告書

(概報)

平成16年度 榎垣外遺跡ほか岡谷市内遺跡発掘調査報告書



長野県岡谷市教育委員会

## 序

岡谷市は諏訪湖盆地の北西部にあって、鉢伏山、高ボッチを背景に、横河川、塚間川が扇状地を形成しながら諏訪湖に注ぎます。諏訪湖西側は湖辺まで山塊が迫り、諏訪湖の出口である釜口水門から天竜川が流れ出ています。このような自然環境にある岡谷市には200箇所近くの遺跡があり、縄文時代をはじめ、弥生、古墳、奈良、平安時代など各時代にわたり多くの遺跡が存在することが知られています。

こうした歴史的環境にあって、開発に伴う埋蔵文化財の調査が行われ、貴重な成果を記録に残し、また出土品の保存に努めてまいりました。

さて、本年度の調査件数は15件に上り、多くの成果を得ることができました。ここに、平成16年度に実施した個人住宅等小規模開発に伴う試掘及び詳細分布調査の概要をまとめ、「平成16年度榎垣外遺跡ほか岡谷市内遺跡発掘調査報告書（概報）」を刊行しました。

埋蔵文化財の保護は、土地所有者、事業者等の皆様のご理解とご協力により行われています。発掘調査で得られた成果を公開、活用することにより、これまで以上のご理解とご協力が得られるものと考え、今後この報告書が多くの皆様に活用されることを願っております。

最後になりましたが、今年度の調査にあたり、深いご理解とご協力をいただきました土地所有者と事業者の皆様へ感謝申し上げます。また発掘調査に携わっていただいた皆さんには、猛暑、厳寒の中をご苦労いただきお礼を申し上げます。

平成17年3月

岡谷市教育委員会  
教育長 北澤 和 男

## 例 言

1. 本報告書は、平成16年度榎垣外遺跡ほか岡谷市内遺跡試掘及び詳細分布調査の報告書（概報）である。
2. 事業は、国の平成16年度国宝重要文化財等保存整備費補助金及び、県の平成16年度文化財保護事業補助金を受けた岡谷市教育委員会が実施した。
3. 調査は、国および県から補助金交付を受けた岡谷市教育委員会が、平成16年4月1日から平成17年3月18日にかけて実施した。整理作業は主に12月～3月に行ったが十分な整理が終了していないため概要の掲載にとどめてある。
4. 出土遺物、記録図面、写真などの資料は岡谷市教育委員会が保管している。
5. 本報告書中の原稿執筆は林順子が行い、全体の編集・作図は事務局が行った。

## 目 次

序

例 言

目 次

1. 平成16年度試掘及び詳細分布調査の概要…………… 1
2. 榎垣外遺跡詳細分布調査…………… 3

## 1. 平成16年度試掘及び詳細分布調査の概要

本年度、岡谷市内の周知の遺跡において、農地転用、公共事業などの開発行為が計画・実施され、岡谷市教育委員会が対応した件数は15件8遺跡に上り、榎垣外遺跡の調査のうち5件については詳細分布調査を行った。以下これらについて概要を記す。

本年度の調査は長地地区に集中し、次いで川岸地区が多い。年間を通じての開発は減少した。

詳細分布調査を行った榎垣外遺跡の辻邑地籍からは縄文時代の小竪穴30基が発見され、また黒曜石の原石が集中して出土するなど榎垣外遺跡の縄文時代の集落の在り方を知る上で貴重な成果となった。同、榎海戸地籍からは調査区を縦断するような長い溝状の落ち込みが発見された。

第1表 平成16年度試掘及び詳細分布調査一覧表

調査期間	遺跡名	所在地	調査の原因	主な遺構	遺構・遺物の時代
18 3.10～3.12 (平成15年度)	榎垣外 (町頭北)	長地小森三丁目2745-3	個人住宅建設		
1 4.5～4.8	榎垣外 (小田野井上)	長地源一丁目1-3	詳細分布調査		縄文・奈良～平安
2 4.7	榎垣外 (鎮守上)	長地柴宮二丁目2950-1外	詳細分布調査		
3 4.8～5.30	榎垣外 (辻邑)	長地柴久保一丁目4101-5外	詳細分布調査	奈～平住1 小竪穴30	縄文・奈良～平安
4 5.18	西除入	川岸上二丁目1190外	個人住宅建設		
5 5.21	榎垣外 (向田通)	長地柴久保一丁目4739-16外	駐車場敷地		
6 5.21～6.1	清水田	長地柴久保二丁目4284-4外	倉庫・駐車場敷地	小竪穴4	縄文
7 5.26	後田原	川岸西一丁目4355-1	個人住宅建設		縄文
8 7.7～7.15	榎垣外 (榎海戸)	長地鎮一丁目4013-1	詳細分布調査	住居跡(時代不明)? 小竪穴1 溝状遺構	縄文・弥生・ 奈良～平安
9 7.8	花園城址	源一丁目3764	敷地拡張		
10 8.3～8.31	榎垣外 (金山京)	長地小森三丁目2891-1外	駐車場敷地	奈～平住11 小竪穴7	奈良～平安・中世
11 9.28	榎垣外 (畑)	長地柴久保一丁目4348外	詳細分布調査		縄文・弥生・ 奈良～平安
12 9.28～10.1	厩平	長地出早二丁目5762-8	土地造成		
13 12.13、14	新倉長塚	川岸西一丁目3762-1外	駐車場敷地		
14 12.27	熊登舟	川岸中一丁目1-2	小学校プール建設		
15 3.1～3.3	榎垣外 (榎海戸)	長地4061-1	個人住宅建設		奈良～平安



第1図 試掘及び詳細分布調査地点 (番号は第1表の一覧表に同じ)

## 2. 榎垣外遺跡詳細分布調査

榎垣外遺跡は縄文時代から平安時代の遺跡として知られ、これまでの調査でも奈良・平安時代の役所跡である長大な掘立柱建物跡や刀子、円面硯、丸柄など当時の役人が使用していた遺物も出土し、官衙を中心に栄えた大規模な集落であったと考えられている。

本年度は今後、榎垣外遺跡の範囲内における市街地開発の増加が見込まれているため、遺跡の詳細を把握する必要があり、詳細分布調査を行った。

詳細分布調査は小野田汐上地籍、鎮守上地籍、辻巳地籍、榎海戸地籍、堀地籍の5箇所で行った。辻巳地籍、榎海戸地籍ではそれぞれ遺構が発見されたため概要を記す。

### (1) 榎垣外遺跡・辻巳地籍

発掘調査の場所	岡谷市長地梨久保一丁目 4101-5外
発掘調査の期間	平成16年4月8日～5月30日
調査の原因	詳細分布調査
調査面積	235.0㎡
発見された遺構	奈良・平安時代住居跡1棟 縄文時代小竪穴30基
発見された遺物	縄文時代中期初頭土器2点 土器片・石器類は4箱

辻巳地籍は、榎垣外遺跡の北側に位置する。過去の調査においても奈良・平安時代の遺構とともに縄文時代の遺構も発見されていた。

調査地は畑地で地表下1mくらいまで耕作が及んでいた。耕作土の下の黒色土層から縄文時代の土器片や黒曜石が多く出土したため精査を行ったところ、縄文時代の小竪穴30基が発見された。小竪穴は調査区西側部分から発見されたが東側部分には見られず、榎垣外遺跡の縄文時代の集落構成を考える上で貴重な調査となった。また、床面のみの残存だが、奈良・平安時代の住居跡が1棟発見された。以下、主な遺構について記述する。

46号住居跡 調査区西側のトレンチの黒色土層中に堅い床面を確認し46号住居跡とした。耕作により大部分を破壊され、床面が一部残るのみであった。奈良・平安時代の住居跡と



第2図 3・4トレンチ



第3図 9トレンチ



第4図 10トレンチ

考えられるが詳細は不明である。

59P 調査区南西側のトレンチから発見された。径34cmの平面円形で深さ17cmを測る。覆土中より黒曜石の原石2点と原石の砕けたかけら8点がまとまって出土した。

69P 調査区中央のトレンチから発見され、南北55cm×東西67cmの平面不整な円形で、深さ23cmを測る。小竪穴のほぼ中央の覆土の高い位置から一括土器が正位の状態で出土した。土器は縄文時代中期初頭に比定される。(表紙写真)

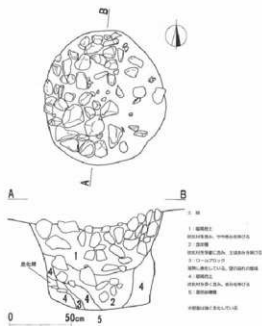
79P 調査区西側のトレンチで発見され、南北108cm×東西96cmの平面楕円形で深さ96cmである。断面形は桶状で中間部分がややくびれる。遺構検出面に10~20cm大の石が集中し、精査を行うと小竪穴の落ち込みが検出された。小竪穴の上部から基底近くまで約190個の石が詰まっていた。中には熱を受けて赤化したり、割れやすくなっている石もあった。



第5図 59P黒曜石出土状態



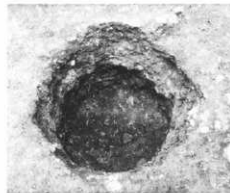
第6図 69P土器出土状態



第7図 79P平・断面図(1:30)



第8図 79P礫出土状態



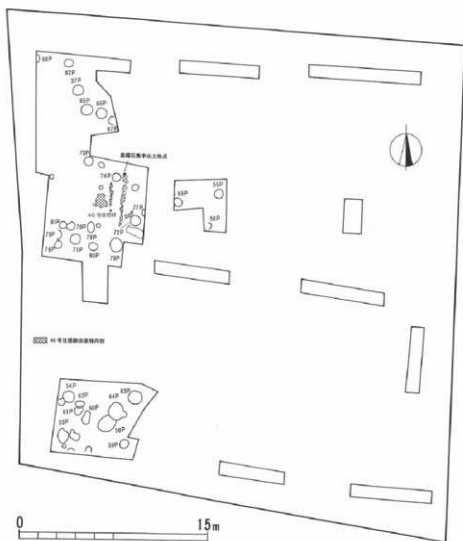
第9図 79P

小竪穴の上部の壁際の石は並べて詰められていた。壁は強く赤化し、下部の石と壁の間に炭化材が多く見られた。石を熱して使用した屋外炉であろう。

黒耀石集中出土 調査区西側の黒色土層中から約4～10cm大の黒耀石の大きな原石が8点、柱状に重なって出土した。黒耀石の周囲に掘り込みは見られないため、どのような性格のものか興味深い。



第10図 黒耀石集中出土状態



第11図 榎垣外遺跡・辻地蔵遺構配置図 (1:300)



## (2) 榎垣外遺跡・榎海戸地籍

発掘調査の場所 岡谷市長地鎮一丁目4013-1

発掘調査の期間 平成16年7月7日～7月15日

調査の原因 詳細分布調査

調査面積 63.0㎡

発見された遺構 住居跡(時代不明)2棟

小堅穴1基 溝状遺構1

発見された遺物 土器片、石器ほか1箱

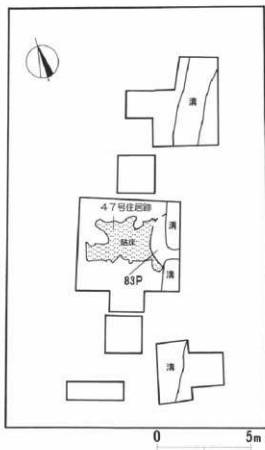


第12図 47号住居跡床面検出状態

榎海戸地籍は榎垣外遺跡の北東に位置し、十四瀬川の南側にあたる。調査を進めていくと、調査区中央に設定したトレンチの地表面を20cmほど掘り下げた黒色土層中に貼床が発見され46号住居跡とした。46住の貼床をはがすと、その下から別の住居跡の貼床が発見され47号住居跡とした。46、47住とも耕作により破壊され、床面のみの残存であり、遺物も少なく不明な点が多い。この貼床の東では調査区を南北に縦断するように幅約130cm、深さ30～60cmの溝状の掘り込みが発見され、溝状遺構とした。溝は断面形が逆台形であり、人為的に掘られている可能性が高い。溝は調査区中央付近でいったん途切れ、30cmほどの橋のような部分を残す。溝内からは縄文、弥生、奈良・平安時代の遺物とともに江戸時代に流通した寛永通宝も発見されていることから、近世の遺構である可能性が高い。調査区中央のトレンチには、溝に切られるような形で大型で浅い小堅穴が発見されているが、覆土中から遺物は出土せず詳細は不明である。



第13図 83P 溝状遺構



第14図 榎垣外遺跡・榎海戸地籍遺構配置図(1:200)

# 報告書抄録

ふりがな	えのきがいと							
書名	榎垣外遺跡発掘調査報告書(概報)							
副書名	平成16年度榎垣外遺跡ほか岡谷市内発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	長野県岡谷市教育委員会							
編集機関	長野県岡谷市教育委員会							
所在地	〒394-8510 長野県岡谷市幸町8-1 TEL0266-23-4811							
発行年月日	西暦 2005年3月18日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
えのきがいと 榎垣外 (小野田沙上)	えのきがいと おかのし 長野県岡谷市 おさち 長地	20204	136	36度 4分 32秒	138度 4分 17秒	20040405 ～ 20040408	40.0	詳細分布調査
えのきがいと 榎垣外 (鎮守上)	えのきがいと おかのし 長野県岡谷市 おさち 長地	20204	134	36度 4分 27秒	138度 4分 4秒	20040407	12.0	詳細分布調査
えのきがいと 榎垣外 (辻畠)	えのきがいと おかのし 長野県岡谷市 おさち 長地	20204	135	36度 4分 45秒	138度 3分 39秒	20040408 ～ 20040530	235.0	詳細分布調査
えのきがいと 榎垣外 (榎海戸)	えのきがいと おかのし 長野県岡谷市 おさち 長地	20204	135	36度 4分 46秒	138度 4分 17秒	20040707 ～ 20040715	63.0	詳細分布調査
えのきがいと 榎垣外 (堀)	えのきがいと おかのし 長野県岡谷市 おさち 長地	20204	135	36度 4分 55秒	138度 4分 0秒	20040928	8.0	詳細分布調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
榎垣外(小野田沙上) 榎垣外(鎮守上) 榎垣外(辻畠) 榎垣外(榎海戸) 榎垣外(堀)	集落		奈良・平安時代住居跡1 縄文時代小竪穴30 住居跡(時代不明)2 小竪穴1 溝状遺構1		縄文時代土器2			

